

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500456
事業所名	グループホーム小喜多

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍で、地域行事はほぼ中止の状況は続いている。町内の一員として地域貢献を考え、必要な折には、ホーム駐車場を提供するお付き合いは継続がある。また、近隣の方が犬の散歩時に声をかけてくれたりと、日常の交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	2ヶ月毎の会議開催を基本とするが、コロナ禍の感染状況によっては、止むを得ず書面開催に切り替えている。この1年は、対面の会議開催は6回のうち1回であった。書面開催の場合は、ホームの運営報告を基に資料を作成し、メンバーに配布、意見を募っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	法人の担当者が、ホームの運営に関する相談・報告を通じて、市の担当部署と連携を図っている。地域包括支援センターとの連携も変わりなく、運営推進会議議事録提出等の際には、情報交換と共有を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	運営推進会議の時の意見聴取(書面含む)や面会時、電話連絡時等、直接の聞き取りの機会を作り、真摯に対応している。コロナ禍の昨今、質問、意向や希望、提案等はコロナ対応・対策へのものが多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

2ヶ月毎の会議開催を原則とするが、コロナ禍の状況で開催方法を検討している。この1年は6回のうち1回を対面開催、5回を書面開催にしている。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								